

TMDU  
東京医科歯科大学

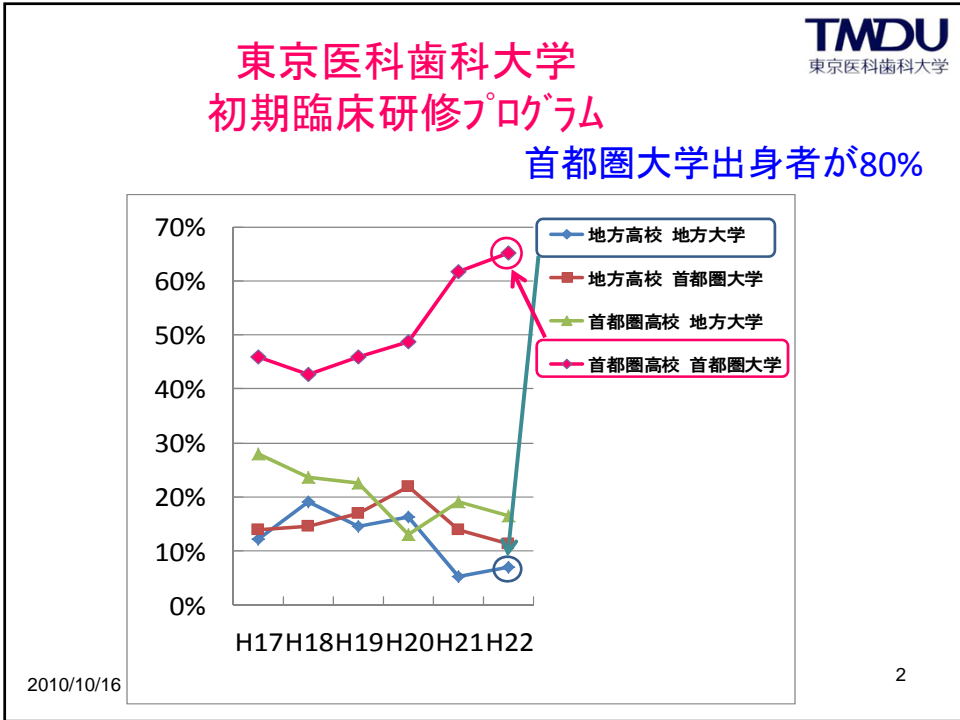
# 都会と地方の協調連携による 高度医療人養成

(東京医科歯科大学、秋田大学、島根大学)

## 意義と課題

第48回 日本医療・病院管理学会学術総会  
2010/10/16

東京医科歯科大学医学部附属病院  
臨床教育研修センター長 田中雄二郎  
同 講師 杉山 徹



### 臨床研修の場合 (H21年度から)

東京医科歯科大学・秋田大学・島根大学の初期臨床研修連携

秋田大学 + 研修協力施設

2年目 3ヶ月×8人 地域研修

2年目 3ヶ月×4人 救急・麻酔

島根大学 + 研修協力施設

東京医科歯科大学 + 研修協力施設

1・2年目 3ヶ月×4人 救急・麻酔

・秋田・島根大学にとっては、地元出身者を引き留める効果  
・医科歯科大学にとっては、医療過疎地域の経験を積ませる効果

医科歯科大学ERで研修中の島根大学研修医 (矢印)

### 専門研修の場合

都会と地方の協調連携による高度医療人養成GP

東京医科歯科大学・秋田大学・島根大学  
—「付加価値」を身につけるテーラーメイド研修—

秋田大学 + 研修協力施設

短期パッケージ研修プログラム(3か月)  
長期パッケージ研修プログラム(1年)

島根大学 + 研修協力施設

各大学の  
研修医療圏

東京医科歯科大学 + 研修協力施設

## パッケージ研修プログラム

**TMDU**  
東京医科歯科大学

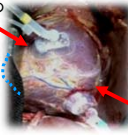
**短期パッケージ研修 (3か月)** ← 参加者には、滞在費・交通費を支給

**ER 亀田総合病院における**  
ドクターヘリ拾乗医師トレーニング



遠隔通信中

**心肺機能外科** オフポンプCABG(人工心肺を用いない心拍動下冠動脈バイパス手術)トレーニング




心機能を損なわない側壁展開法のコツ

側壁のmid(心尖部と心基部の間)に吸着して右上に牽引

心尖部は右胸骨下


CRUX(後壁・側壁境界の心基部)に吸着して左下に牽引

**島根大学 遠隔診療教育システムトレーニング**



遠隔診療所側


**秋田大学 訪問診療トレーニング**



訪問診療

**長期パッケージ研修 (1年)**

**脳神経外科** 重傷頭部外傷手術重点トレーニング



斧による脳損傷

**泌尿器科** ミニマム創内視鏡下根治的胃摘除トレーニング




取り出す創は取り出す物より小さい

## 広域連携研修プログラムの試み

若手医師の交流で地域の医師不足解消へ

**TMDU**  
東京医科歯科大学



2008年1月3日  
毎日新聞一面より

2007年8月16日  
秋田魁新報一面より

## 3年間の派遣/受け入れ実績



交流数 本学より派遣 9名  
本学に受け入れ 6名

総登録数 734名  
東京医科歯科大学 612名  
秋田大学 97名  
島根大学 25名

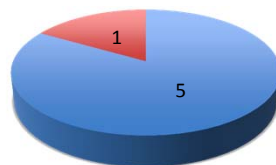
派遣 (東京医科歯科大学⇒他大学)				期後	開始時期	期間
派遣先大学	派遣先診療科	本学	期後			
島根大学	小児科	救命	1年目	平成21年3月1日	1か月	
島根大学	循環器内科	救命	1年目	平成21年8月1日	2か月	
秋田大学	第二内科(循環器内科)	救命	1年目	平成21年10月1日	2か月	
島根大学	消化器・総合外科	食道(9月)	1年目	平成21年10月1日	3か月	
秋田大学	第二外科	肝臓(9月)	1年目	平成21年10月1日	3か月	
秋田大学	第二外科	食道(1月1日)	1年目	平成22年3月1日	1か月	
島根大学	皮膚科	皮膚科	1年目	平成22年6月1日	1か月	
島根大学	小児科	小児科	1年目	平成22年6月1日	2か月	
島根大学	小児科	小児科	1年目	平成22年8月1日	2か月	
秋田大学	外科	肝胆臓外科(10月1日現在)	4年目	今年度派遣予定	未定	
秋田大学	皮膚科	皮膚科	1年目	今年度派遣予定	未定	
島根大学	麻酔	麻酔・蘇生・ペインクリニック	2年目	平成23年1月予定	1年予定	

受入 (他大学⇒東京医科歯科大学)						
受入診療科	所属大学	所属診療科	プログラム名	専門研修開始後	開始時期	期間
郡立駒込病院 血液内科	島根大学	血液内科	血液内科専門医コース	4年目	平成20年12月1日	2か月
消化器内科	島根大学	消化器内科	消化器内科臨床研究・社会人大学院コース(炎症性腸疾患・小腸疾患重点)	5年目	平成21年3月1日	1か月
心臓・肺外科	秋田大学	第二内科	広域アカデミック循環器専門医コース	2年目	平成21年3月1日	1か月
呼吸器内科	島根大学	呼吸器・化学療法内科	呼吸器感染症専門医養成(呼吸器・感染症重点)コース	1年目	平成21年8月1日	2か月
神経内科	島根大学	神経内科	神経内科専門医(臨床神経生理学重点)コース	3年目	平成22年2月8日	2か月
皮膚科	島根大学	皮膚科	皮膚科専門医コース(島根重点型)	1年目	平成22年6月1日	1か月

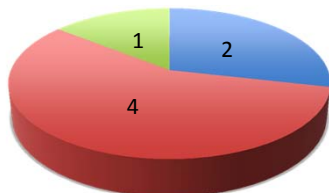
## 派遣研修プログラムに対する満足度


秋田+島根大学専門研修医



- 大満足
- おおむね満足
- どちらともいえない
- やや不満足
- かなり不満足


医科歯科大学専門研修医





## 研修医の感想

<p><b>秋田・島根大学研修医</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自学で学べない分野を学べた</li> <li>• 同じ疾患の治療でも異なるアプローチを経験した</li> <li>• 同年代を含め、多くの専門を共有する医師と知り合えた</li> <li>• 教育・研修システムに学ぶべきことがあった</li> <li>• 戻った後も専門分野のことについて相談できる</li> </ul>	<p><b>東京医科歯科大学研修医</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自学で学べない分野を学べた</li> <li>• その道を究めている医師像に出会えた</li> <li>• 臨床研修を共にした仲間と再会できた</li> <li>• 地域医療の中核を担う大学医局の役割について考えるきっかけとなった</li> <li>• 地域医療の実情をもっと体験したい</li> </ul>
--	---



## 広域専門研修の意義と課題

**意義**

従来あり得なかった広域研修の実現


- 首都圏と地方という、全く異なる診療圏の医療が体験でき、大きく視野を展開できる
- それぞれの大学の得意分野を研修できる

**対策**

- 高度医療人枠レジデントの設定  
(東京医科歯科大学3名)
- オプションの設定 (隠岐の島診療所 等)

**課題**

- 収入(外勤分)が減る
- 不在期間のバックアップが心配
- 診療科間の温度差
- せっかく遠くまで来たのだから...



各大学の研修医療圏

## 小児科研修@島根大学+隠岐の島



隠岐の島診療所



東京医科歯科大学  
地域枠レジデント 田代先生の例  
2010年8~9月

島根大学小児科が誇る代謝異常スクリーニングを勉強できた!



**島根大学医学部**  
Shimane University Faculty of Medicine






第36回山陰小児科学会




医科歯科で救急研修した研修医と再会

## 事業全体として



東京医科歯科大学

- 医療崩壊から医療再生へと導くことが可能か？
  - 各大学の研修環境の整備には有用だった
  - 従来あり得ない
  - 秋田・島根大学で実現できない
  - 十分条件では
- 継続すべきか？
  - 教育は必要条件
  - “教育は定着するまでには時間を要する”



始まったことはいま(夏)

## 謝 辞

秋田大学

医師キャリア形成支援センター、総合地域医療推進学講座

島根大学医学部附属病院

地域医療教育研修センター、病院医学教育センター

東京医科歯科大学

臨床教育研修センター



文部科学省 大学病院支援室

滋賀医科大学附属病院 竹内 義博 副病院長（外部評価委員）